

平成28年度

石巻市男女共同参画推進事業の取り組みについて

＜石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進捗状況と事業の概要＞

石 巻 市

## 目 次

### はじめに

1、本報告書の趣旨	1
2、石巻市における男女共同参画の歩み	1
3、石巻市男女共同参画基本計画のあらまし	1
4、石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進捗に関する評価手法	3

### 第1部 平成28年度における石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進捗状況

1、進捗に関する成果	5
2、指標項目と達成状況	18
3、市の取り組み実績	22

### 第2部 平成28年度における男女共同参画推進事業の概要

1、推進体制	57
--------	----

### 参考資料

石巻市男女共同参画推進条例	59
石巻市男女共同参画推進本部設置要綱（平成29年4月1日～）	64
石巻市男女共同参画推進審議会委員名簿	66

## はじめに

### 1 本報告書の趣旨

この報告は、石巻市男女共同参画推進条例第12条に基づき、石巻市男女共同参画基本計画の進捗状況について、年度ごとに取りまとめ、公表するものであり、今回は平成28年度における進捗状況をお知らせします。

### 2 石巻市における男女共同参画の歩み

石巻市では、男女共同参画について、旧石巻市における、平成10年の「いしのまき男女共生プラン」策定、平成16年の「石巻市男女共同参画推進条例」施行をはじめ、各町においても様々な取り組みを進めてまいりましたが、平成17年4月1日の合併に伴い、新たに「石巻市男女共同参画推進条例」を施行、平成18年2月1日に「石巻市男女共同参画基本計画（第1次）」を策定、平成23年2月1日に「石巻市男女共同参画基本計画（第2次）」を策定、平成29年2月に「石巻市男女共同参画基本計画（第3次）」を策定し、男女共同参画を推進しております。

### 3 石巻市男女共同参画基本計画（第2次）のあらまし

#### （1）計画の性格

- ・ 「石巻市男女共同参画推進条例」に基づく基本計画です。
- ・ 国の「男女共同参画基本計画」及び「宮城県男女共同参画基本計画」はもとより、市の「長期総合計画」等との整合性を図りつつ、男女共同参画社会の実現を目指すための個別計画と位置付けるものです。

#### （2）計画の期間

- ・ 平成23年度から平成28年度までの6年間

#### （3）計画の基本理念

- ・ 男女の人権尊重
- ・ 性別による差別の禁止及び性別による役割分担意識の解消
- ・ 男女のあらゆる意思決定の場への共同参画
- ・ 家庭生活における活動とその他の活動との両立

#### （4）計画の体系（重点課題）

重点課題		施策の方向
1	男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	(1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充 (2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮 (3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実 (4) 男女の生涯にわたる心身の健康支援 (5) 市職員・教員への意識啓発の強化
2	政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 (2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進

	進	(3) 女性人材の育成
3	地域における男女共同参画の推進	(1) 男女共同参画による地域活性化の推進 (2) 男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充 (3) 国際交流・協力の推進
4	働く場における男女共同参画の推進	(1) 働く場における男女共同参画の環境整備 (2) 働く女性の能力の向上と就業のための支援 (3) 企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組の推進
5	男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	(1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶 (2) 暴力被害者に対する支援の拡充 (3) あらゆる場でのセクシュアル・ハラスメントをなくすための取組の推進
6	子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	(1) 家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成 (2) 子育て支援の充実 (3) 高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実 (4) ひとり親家庭等への支援

#### (5) 計画の目標数値

重点課題		項 目	目標値
2	政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	審議会・委員会等への女性委員の登用率	40%
		女性人材リスト登載者数	150名
3	地域における男女共同参画の推進	自治会等役員に占める女性の割合 (※)	20%以上
4	働く場における男女共同参画の推進	家族経営協定締結農家数	10戸以上
6	子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	延長保育の実施箇所数と受入定員	8か所 定員80名
		一時保育の実施箇所数と受入定員	5か所 定員40名
		休日保育の実施箇所数と受入定員	2か所 定員20名
		病後児保育の実施箇所数と受入定員	1か所 定員 2名
		子育て支援センターの数	7か所
		放課後児童クラブの実施箇所数と受入定員	30か所 定員1,195名

(※) 重点課題3における自治会等役員とは、自治会等の会長・副会長・会計・幹事等の全ての役員をいう。

## 4 石巻市男女共同参画基本計画の進捗に関する評価手法

### (1) 評価手法について

計画の進捗状況に関する評価については、市が実施・支援した事業が、市民、事業者にどのような波及効果（成果）をもたらしたか、その尺度となる指標を定め、それを年度終了後に測定することで計画の達成状況を評価します。そこから得たものを次の施策立案につなげていく、いわゆるPDCAサイクルにより計画を実行します。

取組成果については、石巻市男女共同参画推進本部が行い、これを石巻市男女共同参画推進審議会が評価し、審議会の意見を添えて公表します。

### (2) 指標について

男女共同参画社会の実現には、市民の意識改革を伴うことから長期的な取り組みが必要であり、計画の達成度や評価については長期的な視点で総合的に判断していかなければなりません。このため、市民に分かりやすい具体的な指標として「石巻市男女共同参画基本計画」の中で掲げた指標項目のほかに、男女共同参画社会の形成状況を把握するために適当と思われる項目についても、あわせて調査しています。

#### 【男女共同参画の推進に関する指標項目】

重点課題	指標項目
1 男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	(1)中学校の生徒会長及び役員における女性の割合 (2)市が開催する男女共同参画関連イベント・セミナーの参加者数及び男性の参加割合 (3)男女共同参画に関する出前講座の利用回数
2 政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	(1)審議会・委員会等への女性委員の登用率 (2)女性人材リスト登載者数 (3)市議会議員における女性議員の割合 (4)市の管理職における女性の割合
3 地域における男女共同参画の推進	(1)子育て支援センターの数 (2)PTAの会長及び役員における女性の割合 (3)自治会等役員に占める女性の割合
4 働く場における男女共同参画の推進	(1)家族経営協定を締結した農家数 (2)保育士、看護師における男性の割合 (3)自分の職場が仕事と家庭を両立するのに働きやすい職場だと思っている人の割合
5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	(1)DVの内容について正しく理解している人の割合 (2)セクハラまたはDV被害に遭ったときの相談窓口を知っている人の割合

6 子育て・介護・地域活動と 仕事との両立の支援	(1)延長保育の実施箇所数と受入定員 (2)一時保育の実施箇所数と受入定員 (3)休日保育の実施箇所数と受入定員 (4)病後児保育の実施箇所数と受入定員 (5)子育て支援センターの数（再掲） (6)放課後児童クラブの実施箇所数と受入定員
-----------------------------	---

### （３）調査項目等について

評価を行うために調査する項目は、次のとおりとします。

- ① 計画に掲げた各「事業の概要」について、当該事業所管課の取組状況
- ② 男女共同参画推進に関する配慮の状況
- ③ 指標の数値の動向
- ④ セミナー等開催時のアンケート
- ⑤ 男女共同参画に関する市民意識

### （４）まとめ

- (1) 計画の推進状況の評価にあたっては、関連事業の実施率を評価するよりも、市が実施した事業が、市民、事業者にどのような波及効果（成果）をもたらしたかを調査し、計画の達成状況の評価するものとします。
- (2) 男女共同参画については、そういった意識が市民や事業主に浸透するまではかなりの時間を要するものと考えられ、その推進にあたっては行政が積極的に施策を講じていかなければならないことから、関連事業の実施状況も調査し、評価の材料とします。
- (3) 指標については、事業を実施したことによって、市民や事業者にどのような波及効果（成果）をもたらしたか、それらの数値を調査すれば、客観的に男女共同参画の推進状況がわかるようなものとします。
- (4) 実施事業についての自己評価は、担当する者の主観が入るため、人により評価が違ってくこと、また、事業が未実施の場合、予算上の問題によるものも多いことから、各課への照会項目として、「実施事業についての自己評価」及び「事業未実施の場合の理由」は含めないものとします。
- (5) 男女共同参画については、目に見えて進んでいくものとは考えにくいことから、年度毎に評価をするにあたり、できるだけ評価を行い易くするため、計画書に掲載済の指標以外にも指標を設けることとしますが、これらの指標については目標数値を定めず、男女共同参画の推進状況については、国や県との比較、あるいは前年との比較を基に総合的に判断します。

# 第1部 平成28年度における 石巻市男女共同参画基本計画(第2次)の進捗状況

## 1 進捗に関する成果 (平成28年度)

「2 指標項目と達成状況」及び「3 市の取組実績」を基に、以下のとおり取りまとめたもの。

●重点課題1 男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	
施策の方向	(1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充 (2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮 (3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実 (4) 男女の生涯にわたる心身の健康支援 (5) 市職員・教員への意識啓発の強化

### (1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充

#### 【取組実績】

- ・学校では、道徳教育や職業体験等を通し、男女共同参画の理解を深める教育が行われた。
- ・「学校便り」、「PTA広報誌」「学校ホームページ」を活用し、学校と家庭、地域が連携する教育が進められた。
- ・男女共同参画に関する出前講座が実施された。
- ・入学説明会等の機会を活用し、小中学校の保護者に対して男女平等教育について説明した。
- ・市立・私立幼稚園及び市立小・中学校の保護者を対象とした家庭教育学級を開催した。
- ・男女共同参画に関する調査や情報収集を行い、HP等で提供した。

#### 【成果】

- ・児童生徒に対し、教育課程に則り計画的に実践してきた。今後も適切な教育課程の実施に努め、保護者に対しても、機会をとらえて適切な啓発に努める。
- ・「男女共同参画」についての出前講座を実施することで、市民に対し男女共同参画の意味や現状などの理解を深めた。
- ・家庭教育学級の実施については緩やかではあるが上昇しており、今後も各学校等への指導、助言に努め、事業の充実を図る。

### (2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮

#### 【取組実績】

- ・石巻市女性人材リストのフォローアップ研修を兼ねて「男女共創セミナー」を開催した。
- ・男女共同参画週間におけるPR活動、年間を通じた男女共同参画に関係するPRカードの配布、出前講座の実施などの啓発活動を推進した。
- ・男性及び若い世代に向けた啓発事業として、「子育てパパ育成事業」、「親になるための教育事業」を実施した。

- ・内閣府「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」をホームページに掲載し、市民に周知を図った。

#### 【成果】

- ・女性人材リスト登録者のフォローアップをすることで、リスト掲載者の意識の高揚等、図られた。
- ・男女共同参画週間期間中に、自己啓発や意識改革についての講演を開催し、女性のみならず多くの市民に対し、男女とも1人1人の力が発揮できる社会の実現に向け啓発を図った。
- ・地域少子化対策重点交付金を活用し、子育て参加促進事業（「子育てパパ育成事業（イクメン講習会）」「親になるための教育事業」）の拡充を図り、男性や若い世代への啓発に繋がった。
- ・市報やホームページでの情報発信に努め、相談や各種啓発イベント、セミナー等の認知度をあげるよう努めた。
- ・「表現の手引きの検討、作成」について実績がなく、現段階では具体的な計画はないが、市HPに内閣府男女共同参画局作成の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を外部リンクとして掲載した。

### (3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実

#### 【取組実績】

- ・全体指導計画は策定済で、各学校において引き続き指導を行っている。
- ・市立高校を対象とした「高校生のための人権教室」にて、学年毎に「高校生に伝えたい性とのち」をテーマに講話を実施した。
- ・学校内での相談体制として、すべての小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、気軽に相談できる体制を整備した。

#### 【成果】

- ・学校内での相談体制など、引き続き教育計画や年間指導計画に則り、相談体制の充実を図っており、今後も引き続き実施する。
- ・石巻市立桜坂高校の人権教室は、思春期における心の教育、さらに女性特有の資質や性教育講話など、段階を踏んで各学年で行うことで、大人となる学生たちへの知識を深め、性への注意喚起にもなった。

### (4) 男女の生涯にわたる心身の健康支援

#### 【取組実績】

- ・妊婦に対しては母子健康手帳交付時の個別面接、産婦に対しては訪問指導を実施している。
- ・妊婦一般健康診査費の助成事業を実施している。
- ・こころの相談事業、各種健康教室、がんの予防研修会を実施している。
- ・食育の推進として、各種研修会、セミナーを実施している。
- ・禁煙指導（喫煙に関する正確な情報提供）を実施している。

#### 【成果】

- ・石巻市健康増進計画に基づいた事業を行い、市民の健康づくりの支援や生活習慣病の予防に



努めている。妊婦健診や訪問指導を実施し、妊婦や産婦の健康の保持増進を図り、安心安全な出産や子育てを支援した。

- ・保健推進員研修会や出前講座などを通じ、食育の推進を図るとともに、女性の食生活の問題等の解消に向け啓発を行った。

#### **(5) 市職員・教員への意識啓発の強化**

##### **【取組実績】**

- ・庁内グループウェアを通し、各種情報の提供を行い、職員へ周知を図っている。
- ・市職員を対象に意識啓発研修を実施している。今年度は、新たな試みとして管理職を対象に「イクボスってどんなボス？～理想の上司像とは～」を実施した。
- ・教職員、保護者を対象に、人権に関する研修会を実施した。

##### **【成果】**

- ・男性職員向けの研修（「イクメン講習会」）、管理職向け（イクボス研修）の研修を実施することにより、職員個々の意識改革に繋げ、育児についての関心を高めることができた。
- ・「人権意識を高める教育講演会」の実施について、今年度は「いじめ」についての講演会を行い、人権擁護委員協議会と連携し啓発の強化が図られた。

●重点課題２ 政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	
施策の方向	(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 (2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進 (3) 女性人材の育成

#### **(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進**

##### **【取組実績】**

- ・委員選考の参考として「女性人材リスト」を整備しており、女性人材リスト登録の更なる働きかけを行った結果、前年度に比べリスト登載者が８名増えた。（平成２９年４月１日現在１４５人登載）
- ・各課に対し、審議会等への女性登用を促した。

##### **【成果】**

- ・女性人材リストを整備するとともに、各課に対しリストの活用を呼びかけたことにより、各審議会等への女性委員の確保に努めた。平成２９年４月１日現在、女性人材リスト登載者より各種委員に委嘱されている人数は２０名となっている。

#### **(2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進**

##### **【取組実績】**

- ・審議会等の女性委員の登用促進について、関係部局及び市関係団体等に対して、女性登用への配慮や女性人材リストの活用の働きかけを行った。

- ・「石巻市特定事業主行動計画」（女性活躍の推進）に基づき、管理職的地位（ポスト補佐職含む）にある女性職員の登用を推進した。

#### 【成果】

- ・市職員の女性管理職の割合は平成２９年４月１日現在で１２．６％となっており、前年より３．２％上昇した。
- ・職員の雇用の女性比率については、平成２８年４月と２９年４月では、ほぼ横ばいで、４６％台の比率となっている。

### (3) 女性人材の育成

#### 【取組実績】

- ・女性人材育成セミナーを実施し、参加者自身が前向きに活躍するスキルを学んだ。
- ・ＮＰＯ法人、企業と協働で、女性の社会参画へのスキルを上げるセミナーを実施した。
- ・市町村アカデミーへ市女性職員を派遣した。
- ・「なりたい自分になるために～女性が活躍するための生き方・働き方改革～」と題して、男女共創セミナーを実施し、女性が社会活躍するための意識改革を図った。

#### 【成果】

- ・女性を対象にした各セミナーにおいて人材育成に努めた結果、各セミナー受講者から８名が女性人材リストへ新規登載した。
- ・積極的に女性職員の能力が活かせる環境づくり、意識づくりに努めた。

●重点課題３ 地域における男女共同参画の推進	
施策の方向	(1) 男女共同参画による地域活性化の推進 (2) 男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充 (3) 国際交流・協力の推進

### (1) 男女共同参画による地域活性化の推進

#### 【取組実績】

- ・自治会役員における女性の割合調査を実施した際に、地縁団体等の長や役員に女性登用の呼びかけを行った。
- ・女性人材リスト登録者のフォローアップ研修として、男女共創セミナーを開催した。
- ・防災分野において「男女共同参画・多様な視点からの防災実践講座」を県と共催した。
- ・マルハニチロ社員に対し、出前講座『男女共同参画の実現に向けて「仕事と介護の両立セミナー」』を実施した。

#### 【成果】

- ・自治会女性役員の登用について、平成２８年１０月１日現在、女性会長は１０人となっており、全体の２．６％にとどまっている。

- ・男女共創セミナーを女性人材育成のため、女性人材リスト登録者あてにセミナーの開催通知を送付し、参加を促したことでリスト登録者の意識の高揚など図られた。
- ・男女共同参画に関しての出前講座として、仕事と介護を絡めて講座を行ったことで、夫婦片方にのみに負担がかからないよう啓発や理解の促進に努めた。

## (2) 男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充

### 【取組実績】

- ・NPO支援オフィスのホームページや情報誌を活用し、事業の積極的な周知を図った。
- ・市民活動団体や女性団体等と連携・協働し、女性の自立に役立つ講演会・セミナー等を開催した。
- ・「石巻市NPO連絡会議」を2回行い、市と市民活動団体関係者等との意見交換を行った。
- ・石巻市男女共同参画基本計画（第3次）の策定のため、NPO団体との意見交換を行い、第3次計画に反映させることに努めた。

### 【成果】

- ・市民活動団体や女性団体等と連携・協働することで、幅広い啓発へ繋がった。
- ・市内で活動するNPO法人やボランティア団体の活動の活性化を図るために設立された「石巻市NPO連絡会議」を支援し、復興まちづくりを担う女性や若者の人材育成を図った。

## (3) 国際交流・協力の推進

### 【取組実績】

- ・国際交流団体への活動支援を実施し、国際交流、国際文化の相互理解への協力を行った。
- ・外国人窓口の設置し、手続き案内、相談等を実施した。
- ・駐日本国大韓民国大使館主催による石巻市内高校生韓国招待事業へ実施協力をした。
- ・多文化共生推進プラン事業「じゃばN e e d s 塾」を実施し、外国人に対する日本文化の理解等図った。
- ・「海外姉妹都市・友好都市との交流事業記録写真展」をイオンモール石巻にて実施した。

### 【成果】

- ・多文化共生推進事業の充実に関する取り組みを重点的に行い、「じゃばN e e d s 塾」では、日本の文化や風習を学びながら、国籍を問わず参加者同士の交流が深められた。
- ・また、今年度はイオンモール石巻にて「海外姉妹都市・友好都市との交流事業記録写真展」を実施し、国際交流事業の様子を市民へ周知することができた。

●重点課題4 働く場における男女共同参画の推進	
施策の方向	(1) 働く場における男女共同参画の環境整備 (2) 働く女性の能力の向上と就業のための支援 (3) 企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組の推進

## (1) 働く場における男女共同参画の環境整備

#### 【取組実績】

- ・労働実態に関する情報収集として、事業所との女性活躍推進法に関する意見交換会を行った。
- ・上記意見交換会開催時に宮城県が行う企業認定、表彰制度の周知を行った。
- ・市報や市ホームページに男女雇用機会均等法改正内容などの記事を掲載し、周知を図った。

#### 【成果】

- ・管理職の育児に関する理解を促すセミナーを実施することで、ワーク・ライフ・バランスの啓発や男性の育児休暇取得の啓発に繋げることができた。
- ・ハローワーク石巻「マザーズコーナー」を市報に掲載することで、働くことを希望する女性の相談窓口について周知が図られた。
- ・ワーク・ライフ・バランスについてのアンケート調査を行うことで、意識啓発に繋げた。

### (2) 働く女性の能力の向上と就業のための支援

#### 【取組実績】

- ・石巻市創業支援事業計画に基づき、各創業支援事業者が創業希望者向けに知識習得のためのセミナーを実施した。
- ・NPO法人、企業と協働で、女性の社会参画へのスキルを上げるセミナーを実施した。
- ・働く女性の生活意識の把握のため、アンケート調査を実施した。
- ・家族経営協定締結数が増加した。(新規6件/計26件)

#### 【成果】

- ・地域における創業者の支援を行い、開業率の向上による本市産業の活性化及び雇用の確保に結びつく取り組みを行った。
- ・関係団体と連携し、女性の起業及びスキルアップのための講座を実施し意識啓発に繋げた。
- ・新規就農促進施策の拡充により、親子間の家族経営協定締結数が増加した。

### (3) 企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組の推進

#### 【取組実績】

- ・各種講演会のチラシ等を、市が主催する講演会等で配布し啓発した。

#### 【成果】

- ・女性の人材育成に関する講座のチラシを配布にすることで、コミュニケーションなどの仕事にプラスとなる講座への情報提供することができた。

●重点課題5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	
施策の方向	(1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶 (2) 暴力被害者に対する支援の拡充 (3) あらゆる場でのセクシュアル・ハラスメントをなくすための取組の推進

### (1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶

#### 【取組実績】

- ・DV相談窓口PRカード配布やDV被害防止啓発についてのポスター・パネルを展示した。
- ・被災地におけるDV予防啓発講座を実施した。
- ・高校生のための人権教室を実施した。
- ・いじめに対する予防啓発のための講演会を実施した。
- ・関係機関、団体と連携した人権啓発事業を実施した。

#### 【成果】

- ・石巻市立桜坂高校の人権教室は性教育講話も兼ね、思春期における心の教育を図るとともに、性暴力などへの注意喚起にも繋がった。
- ・県との共催事業「DV予防啓発講座」では、民生委員や地域福祉コーディネーター等が参加し、DVの未然防止や被害者支援について啓発できた。
- ・スマホやSNSなど現代社会におけるいじめの状況などの理解と当事者にならないよう対応を学ぶことで、受講者の子どもに対する暴力・虐待予防の意識啓発が図られた。
- ・関係機関、団体と連携した人権啓発事業では、石巻市人権擁護委員協議会の活動を支援するほか、地元FMラジオでの啓発を行い、広く周知を行った。

### (2) 暴力被害者に対する支援の拡充

#### 【取組実績】

- ・市及び関係機関の相談窓口並びにDV被害の各種カウンセリング事業等の周知を行った。
- ・DV被害を含めた様々な女性の悩みの相談窓口としてフェミニストカウンセラーによる「女性のための面接相談」へ事業の協力を行った。
- ・専門知識を有するアドバイザーの指導・助言を受けるとともに、個別ケース検討会議や各種研修会への参加など、相談業務担当者の対処能力のスキルアップを図った。
- ・警察署をはじめとした関係機関との連絡・連携を密にし、虐待ケースに係る検討会議等においても、DV被害などの関連情報の収集を行った。
- ・被害者の住民票や選挙人名簿等の閲覧制限や写しの交付の制限、並びにそれ以外の支援措置を行った。
- ・生命への危険性が高いケースについては、関係機関の協力を得て一時保護施設及び母子生活支援施設への入所支援を速やかに行った。

#### 【成果】

- ・「女性のための面接相談」について、当市では平成28年度に34件の相談を受付けた。当事業は、内閣府事業であり県内各地で実施されている。県全体での平成28年度の相談者の総数は202人であるが、そのうち石巻市居住者（他会場での相談分を含む）は70件となっており、県内市町村の中では最も多い。
- ・DV、虐待被害者のための相談体制の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化した。また、被害者及び支援者の安全確保を優先し、継続支援を行うため、定期的に関係機関による検討会議を開催し、支援拡充を行った。
- ・引き続き、被害者保護のための措置として住民票の閲覧や写しの交付及び戸籍の附表の写し

の交付を制限するとともに、関係機関と連携を取りながら支援措置を実施していく。

### (3) あらゆる場でのセクシュアル・ハラスメントをなくすための取組の推進

#### 【取組実績】

- ・市職員のハラスメント相談体制等を整備し、グループウェアへ掲載・周知を行っている。

#### 【成果】

- ・引き続き、ハラスメントで悩んでいる職員のための相談体制を整え、防止や解決に取り組むとともに平成29年1月1日施行の「妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止等」にあわせ、妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントを追加するため、要綱の一部改正を行い、対応可能とした。

●重点課題6 子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	
施策の方向	(1) 家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成 (2) 子育て支援の充実 (3) 高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実 (4) ひとり親家庭等への支援

### (1) 家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成

#### 【取組実績】

- ・男性参加型のセミナーとして、市内の企業等で今年度も子育て世代の父親向けに「イクメン講習会」を行った。
- ・「親になるための教育事業」として、市内中学生に対し、妊娠・出産・育児などの知識や乳幼児とのふれあい体験をする機会を設けることで、性教育や子育てへの理解の促進を図った。
- ・ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を図るため、管理職対象に講演を行った。
- ・男女共同参画に関する出前講座を実施した。
- ・子育てハンドブック、子育て情報誌を作成、配布した。
- ・地域社会と学校教育が共同の仕組みを支える協議会を設置し、地域の特色を生かした教育活動を実践し、子どもたちが「生きる力」を醸成することを目的に協働教育推進委託事業を実施した。

#### 【成果】

- ・少子化対策プロジェクトチームからの提案を受け、地域少子化対策重点交付金を活用し、子育て参加促進事業（「子育てパパ育成事業（イクメン講習会）」「親になるための教育事業」）の拡充を図り、男性や若い世代への啓発に繋がった。
- ・「男女共同参画」についての出前講座を実施することで、市民に対し男女共同参画の意味や現状などの理解を深めた。
- ・子育てハンドブック、子育て情報誌を作成、配布することで、すぐに欲しい地域の子育て情報が入手しやすくなり、子育て支援の充実が図られた。

- ・協働教育推進委託事業は、委託校4校で実施し、175事業を実施することができた。
- ・市職員に対しては、グループウェアで子育て支援情報を掲載し周知を図ることで、育児休暇や手当などの利用の促進を図った。

## (2) 子育て支援の充実

### 【取組実績】

- ・保育所待機児童の解消を図るため、新規施設の開設や小規模保育事業所への認可等の整備を行った。
- ・延長保育、一時保育、乳児保育、障害児保育、病後児保育等の充実を図った。
- ・子育て支援センター事業の充実を図った。
- ・放課後児童クラブの充実を図った。
- ・子ども医療費助成の充実を図った。
- ・「楽しさいっぱい・こども展」を開催した。
- ・子どもの健全育成を支援する相談事業の充実を図った。
- ・母子健康手帳交付時、個別面接を実施した。
- ・乳幼児健診を実施した。
- ・「石巻父子手帖」の作成、配付を行った。
- ・地域の保護者における自主的な子育てサークルの育成を支援した。

### 【成果】

- ・保育事業の充実を図るべく、新規施設の開設や小規模保育事業所への認可等を行い、受け入れ施設を増やした。また、延長保育、休日保育等で、利用者へのサービスの充実を図ることができた。
- ・平成28年度より病後児保育を開始することができ、保育事業の充実が図られた。
- ・子ども医療費助成を実施することにより、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減が図られた。  
また、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援をすることで、若い世代の定住促進が期待され、少子化や人口減少に歯止めをかける重要施策のひとつとして継続して実施する必要がある。
- ・「楽しさいっぱい・こども展」の実施は、幼児期のよりよい教育環境の創造をともに考えるため、人格の基盤が形成される幼児期の子どもを育成中の市民を対象に、幼稚園教諭、保育士による遊びの場を提供し、子どもとのコミュニケーションを増やすことで、子育てを楽しく行うヒントを与え、また、かけがえのない子どもの命・存在に気づくことにより、人権尊重の意識を高めることができた。また、子育て支援制度の紹介をすることで、子育て中の悩みや、相談機関の情報を与える機会となった。
- ・子どもの気持ちや保護者の悩みを理解し、子どもの健全育成を支援するため、相談事業の充実を図り、市民サービス向上に努めた。
- ・母子健康手帳交付時の個別面接や乳幼児健診、育児相談等を通じて、保護者が安心して子供を産み、健やかに育てることができるよう支援している。今後も支援が必要な方の早期発見と継続的な支援を実施していくこととする。
- ・保護者自身が実施している子育てサークル等において依頼に応じ、育児相談等を実施するこ

とで、自主的な活動が継続できるよう支援をする。

- ・「石巻市父子手帖」を配付することにより、家庭での父親の育児参加を促し、安心して子育てできるよう啓発する。

### **(3) 高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実**

#### **【取組実績】**

- ・高齢者への生活支援及び地域支援事業（「ひとりぐらし高齢者等緊急通報システム事業」、「食」の自立支援事業等）を実施した。
- ・高齢者の健康づくり事業を実施した。
- ・介護予防及び認知症予防対策事業を実施した。
- ・介護サービスの充実を図った。
- ・高齢者や障害者及び家族に対する相談、支援を実施した。
- ・高齢者や障害福祉制度の理解を深めるための普及啓発を行った。
- ・高齢者教室を開催した。

#### **【成果】**

- ・ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業等の高齢者ケアの利用件数は、ほぼ例年の数字で推移しているが、低所得の高齢者にとってサービスの利用促進に繋がっていることから、今後も事業の周知等進めていく。
- ・要介護状態に陥る可能性のある高齢者への介護サービス提供など様々な取り組みを行った。また、介護予防教室に参加された高齢者を対象に、今後は住民主体による自主的活動へ取り組めるよう推進した。
- ・関係団体と連携した高齢者の健康づくりや生活習慣病予防への支援が介護予防につながっている。今後も市民による自主的な健康づくりや介護予防活動を支援を進める。
- ・基幹相談支援センター等の周知が図られたこともあり、相談件数が増加し、それによりサービスの利用等へつながり、障害者の生活支援が図られたと考えられる。
- ・高齢者の学習機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与した。今後、事業の継続、新規受講生の確保に努める。

### **(4) ひとり親家庭等への支援**

#### **【取組実績】**

- ・各種支援制度の周知を図った。
- ・母子家庭等自立支援事業を実施した。
- ・相談体制の充実を図った。
- ・ひとり親家庭への児童扶養手当の支給及び医療費の助成を行った。
- ・母子・父子家庭への医療費助成を行った。

#### **【成果】**

- ・制度の周知や給付を通して、自立支援の促進に繋がった。



●後期最重点課題1 復興施策における緊急対応事項	
施策の方向	(1) 震災復興に関するあらゆるレベルの審議の場への女性等の多様な人材の参画推進 (2) 被災者に対する自立に向けた男女共同参画の視点によるケア・サポートの充実

### (1) 震災復興に関するあらゆるレベルの審議の場への女性等の多様な人材の参画推進

#### 【取組実績】

- ・各種会議の委員への女性登用の配慮を依頼した。

#### 【成果】

- ・石巻防災会議委員の女性割合は9.3%（男性委員49名、女性委員5名）となっている。
- ・H29の改選時には、定員も含め女性委員の登用について検討する。
- ・震災復興推進会議では、辞職などによる変更が3名あったが、女性委員数に変更はなかった。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議でも、委員の辞任等により変更があったが、女性委員の数に変更はなかった。
- ・新たに組織した震災伝承検討会議においても、女性委員の登用を働きかけた。

### (2) 被災者に対する自立に向けた男女共同参画の視点によるケア・サポートの充実

#### 【取組実績】

下記の事業のほか、各種事業を行った。

- ・地域福祉コーディネーター配置事業の実施。
- ・ささえあい拠点センター、ささえあいセンター（集会所・談話室）を設置し、子育て支援スペースや学習スペースとしての活用を呼びかけた。
- ・情報共有を図りながら、応急仮設住宅生活者への支援を、石巻市社会福祉協議会主催の「いのまき支援連絡会」の実施。
- ・子育て支援団体から講師を招き子

育て支援センターで子育て親子に対する研修会を実施した。

#### 【成果】

- ・復興公営住宅等への入居が進み応急仮設住宅の入居率が低下している中で、支援の内容が全体的な支援から、再建方法未定世帯を中心とした個別支援を行う事業へ移行している。
- ・支援対象についても仮設から復興公営住宅へ徐々に移行してきており、入居後のコミュニティ支援について各課で取り組んでいる。
- ・子育て支援センターで研修会を開催することで、子育てに関する不安や孤独感の解消につながった。

## ●後期最重点課題2 将来を見据えた男女共同参画の取り組み

施策の方向	(1) DVの未然防止、子ども・高齢者虐待の未然防止に関する施策の充実 (2) 女性職員の管理職登用に対する意識の改革 (3) 男女共同参画社会の正しい理解の啓発促進
-------	---

### (1) DVの未然防止、子ども・高齢者虐待の未然防止に関する施策の充実

#### 【取組実績】

- ・複雑化する虐待ケースに関係機関と連携し対応した。
- ・石巻市社協が開催するエリア主任会議にて、情報共有に努めた。
- ・児童虐待に関するリーフレットの配布やシンポジウム開催による啓発活動を行った。
- ・専門カウンセリング事業を実施した。
- ・保育士や指導員向けの研修を通し、注意意識の啓発や観察の徹底を呼びかけた。
- ・傾聴ボランティア活動を通した繋がりづくりを行った
- ・相談窓口の告知を行った。
- ・障害者関係機関及び一般市民向けの講演会「怒りとの上手な付き合い方」について学んだ。
- ・心のケアミーティングで、関係機関との情報共有に努めた。

#### 【成果】

- ・情報の集約及び関係機関との連携の強化が図られ、各種支援施策を迅速にコーディネートした総合的な対応が可能となり、虐待被害の重症化防止につながった。
- ・「命を大切に作る心の講演会」について、今年度は怒りとの付き合い方を学び、関係機関に呼びかけ、市報にも掲載し周知できた。
- ・傾聴ボランティア活動について、人のつながりを学ぶ機会づくり、他機関と連携をとり、復興住宅集会所で初めての開催となった。傾聴だけでなく、体操や歌を組み合わせながら市民同士が集う良い機会となった。
- ・一人で悩まず誰かに相談できるよう、相談窓口について市民にむけて自死対策に取り組んでいる現状を知らせ相談機関の周知ができた。心のケアミーティングについて各関係機関で連携強化につながったことから、今後も継続希望があった。

### (2) 女性職員の管理職登用に対する意識の改革

#### 【取組実績】

- ・意欲と能力のある女性職員の登用推進及び能力実績主義に基づいた適材適所の人事配置を行った。
- ・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画を策定し、多様なポストへの女性の配置を進めている。

#### 【成果】

- ・引き続き、女性の参画を推進できるような人事配置を実施していく。
- ・石巻市特定事業主行動計画（女性の活躍推進）により、多様なポストへ女性を積極的に配置

し、管理的地位（ポスト補佐職含む）に占める女性職員数は、平成２９年４月１日現在で、８４人となっている。

### (3) 男女共同参画社会の正しい理解の啓発促進

#### 【取組実績】

- ・市職員を対象とした男女共同参画に係る講演会を実施した。
- ・市民を対象とした各種セミナーを開催した。

#### 【成果】

- ・市職員を対象に「イクメン講習会」や女性の力を仕事に活かすための研修を実施し、職員の個々の意識改革に繋げることができた。
- ・市民及び団体等を対象とした様々な啓発活動を実施し、市民への周知を図り、男女共同参画について理解の促進に努めた。

### ● ま と め ●

- ・男女共同参画社会の実現に向け、市は男女共同参画推進条例を平成１７年４月から施行し、性別によって隔たりを持つ従来の社会制度や慣行を見直し、市民一人ひとりが性別によって差別されない平等な存在として、その人権が尊重される社会の実現を目指している。
- ・その実現のためには、市の男女共同参画推進計画を着実に進めることが肝要であり、また、その進捗内容の管理や、各担当セクションにおける更なる意識向上により、事業進行が図られることが重要である。
- ・石巻市男女共同参画基本計画（第２次）においては、平成２７年度及び２８年度を後期ととらえているが、当初の重点課題の６つを解決することに加え、今日の社会状況を考慮して特に推進すべき事項を後期最重点課題としている。なお、平成２８年度は第２次計画の最終年となり、計画の目標数値へ到達しているか、なども評価することとしている。
- ・性別の格差がなく、各種施策や震災復興への意思形成過程への参画を推進することによって、全ての市民が暮らしやすい環境づくりが実現され、また、長期にわたる被災後の状況に対するフォローを行うことによって、ＤＶに係る加害者・被害者の発生を未然に防止する取組みが行われている。
- ・性別にかかわらず、一人ひとりの人権が尊重され、その結果、審議会委員、管理職、自治会役員等への登用や、女性起業家が社会進出できる地域づくりを、一人ひとりのスキルアップ、及び男女共同参画に関する関心・理解を深めることによって進めていくことが必要である。